

第4回ワークショップの概要

発行：平成27年2月5日（木）

第4回ワークショップでは、公園計画の詳細や維持管理などについて3班に分かれて検討しました。当日は、20名（大人20名、子ども0名）の方にご参加いただきました。この新聞では、第4回ワークショップで検討した成果についてご紹介いたします。

第4回ワークショップ『皆さんが望む宮ノ下公園へ！』

平成27年1月18日（日）午前10時から12時 於：柄沢中央町内会館

計画案の詳細・維持管理の検討～みんなに愛される宮ノ下公園に向けて！～

はじめに、前回（第3回）の結果のふり返りとともに、ワークショップで話し合った結果に基づき、3つの班で検討した意見・提案を反映させた計画案の修正案を提示しました。

前回の統一案からの主な修正箇所は、西側道路沿いに幼児が遊べるミニ広場の設置、余水吐東側の健康・運動ゾーンへのフェンスの設置、調整池上部の園路の修正、公園北西側の出入口の移動、公園北側の既存樹林付近の園路（散策路）を2ルートに修正等です（図1）。



図1 検討用平面図

班ごとの検討

つづいて、3つの班に分かれ、計画案の詳細や維持管理方法について検討を行いました。その際に、みんなに愛される宮ノ下公園となるために、第1回から第3回で出された課題を中心に、さらなる意見やどんな対策が考えられるかについて話し合いました（図2～図6）。

計画案の詳細、維持管理に関する検討表

課題	意見	対策、技術的方策など
植栽の維持管理		町内会 ⇩ 連携 団体
落ち葉	子ども会が行っていることもある	樹林 ↓ 守る会に依頼
子どもの飛び出し		町内会が携わる
若者のたむろ（出入口の位置）		車止めで対応
土ぼこりが舞う（広場、法面等の舗装）		ゴムチップ系の舗装 土部を減らす 遊具の下を怪我をしない舗装にする
蚊の発生（湧水、池・小川の整備）		水を流すことで対応する
家の中が覗かれる（散策路の位置）		園路の位置を下げる ・目隠し ・垣根 ・壁
防犯対策、防犯カメラの設置		防犯カメラはいる!
防災無線、防災倉庫	倉庫はいらない	かまどベンチ 防災対応
駐輪場	出入口を北側にもう1箇所設ける 西側の駐輪場を大きくとる	・自転車置き場多めにとる ・駐車位置の線を引く

図2 検討結果 整理表 (A班)

※B班の平面図については、ワークショップで作成されませんでした。

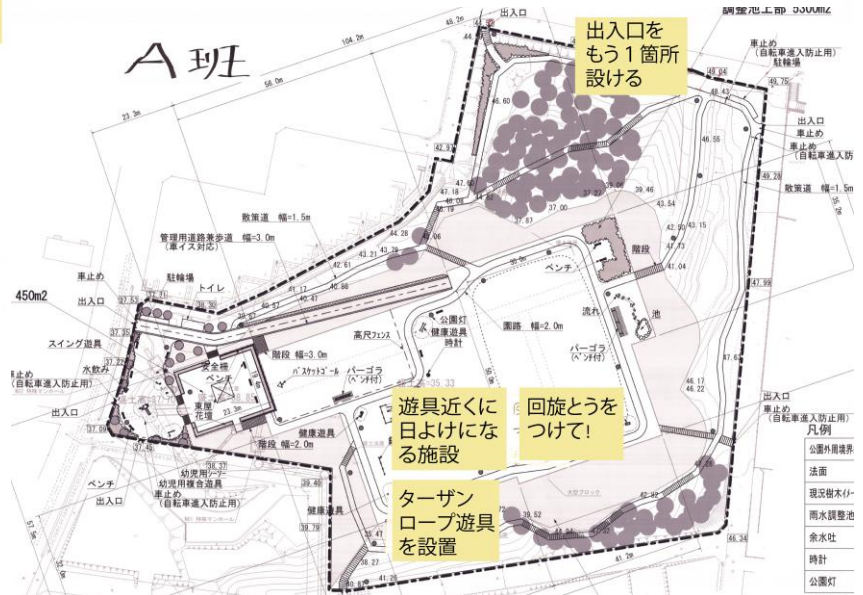


図3 検討結果 平面図 (A班)

計画案の詳細、維持管理に関する検討表

課題	意見	対策、技術的方策など
植栽の維持管理	今ある木は間引き、補植する際はつじ等に 年何回、手入れできるか	ポランティアは花壇くらい 防犯上問題ないよう間引き 常緑樹や低木にする あまり高くない木
落ち葉	芝生の管理は素人には無理 落ち葉管理 秋に2回程度必要 落ち葉の集積場所	樹木の維持管理は基本は市が行う 低木の管理は大変 のり面に芝生を敷く際、プラスチックの保護マットを敷く
子どもの飛び出し	エントランスの出入口について道路側は危ない	落ちは調整池側に落ちる線にする
若者のたむろ（出入口の位置）		自販機は設置しない 全体的に見通しを良くする
土ぼこりが舞う（広場、法面等の舗装）		のり面は出来るだけ芝生にする
蚊の発生（湧水、池・小川の整備）	有害動物を捨てられないようにする	浅い池? 流れるようにする ボウフラを食べる生き物をいれる 防虫剤やトンボを使う
家の中が覗かれる（散策路の位置）		覗けないように道を工夫する
防犯対策、防犯カメラの設置	防犯カメラは是非つけてほしい 一定時間で録画を捨てる	
防災無線、防災倉庫		防災、愛護会用の倉庫用地を確保する
	余水吐けの桶は1.1mだと低い バーゴラより屋根付きがいい 階段はすべらない素材にする	ローラーすべり台は夏に熱くなりやけどするので素材に配慮する 基本はメンテナンスフリーにする 柵は人が登れないものにする

図4 検討結果 整理表 (B班)

計画案の詳細、維持管理に関する検討表

課題	意見	対策、技術的方策など
植栽の維持管理	愛護会を設立する 高木は業者が管理する	樹高を低く抑える
落ち葉		
子どもの飛び出し		
若者のたむろ（出入口の位置）		
土ぼこりが舞う（広場、法面等の舗装）	砂ぼこりが立たないように舗装する	のり面には土留めやコンクリートを打つ のり面は芝生にする
蚊の発生（湧水、池・小川の整備）		
家の中が覗かれる（散策路の位置）	散策路を変更する	近隣住宅へ配慮する
防犯対策、防犯カメラの設置	防犯カメラを設置したい	
防災無線、防災倉庫		
	車椅子用の乗降場をつくる 管理用車両の待避所をつくる	水飲み場は利用者以外使えないようにする

図5 検討結果 整理表 (D班)